

脇左 近江大掾藤原忠廣

「肥前國住藤原忠廣」

「近江大掾藤原忠廣」

「肥前國住近江大掾藤原忠廣」

「肥前國志廣」 「忠廣」

唐安順(一六四八) 肥前

初代忠吉の子 高平平行等の所新左衛門。

寛永九年(一六三二)八月十五日父忠吉と一戦交 七五歳

寛永十八年(一六四一)首三三三「近江大掾」受領 六八歳

貞享三年(一六八六)二月二日 在野「陸奥守」受領 七三歳

元禄六年(一六九三)五月二十七日没 八十歳

大宰相

平成十七年十月十六日

刃長 約一尺(二尺三寸八分九厘)

先重 表〇.四〇 裏〇.五〇

莖中ノ切目

長は莖蒲造 裏は切刃造、唐棟尊帯、表の錫巾・錫高は尊帯、裏の錫地は広く錫は低い、重ねは薄めて

身巾はやや広く、フクラは尊帯、反りは中向反りが尊帯は脇指の姿となる。


地鉄は小板目に至目と交えてよく均す。

地酒は細かく磨くつゝ、地景は沈む。

刃文は互の目、沸匂は深く右は沸ブミ沸足が長く入り、葉が交じる。(アブノ目) 匂口は明るく冴える。

帽子 フクラに添って先は小丸で長めに返り、裏の返りは腹中が広い。

莖は生ふ、錫は高く裏の錫筋(切刃)はし。かりと立てながら莖先に板け、先は入山形、刃角ハ

棟角「」 錫は切でやや右肩上りで深く、目釘穴は二、銘は錫筋にかけながら錫地に

長銘を切る。 二代忠廣の片切刃は珍らしく、地・刃健全て出来は良い。

鑑定刀

反り 〇.93mm(三分二厘)

莖長 19.0mm(19.5mm)

莖元重 〇.61mm(〇.62mm)

莖元重 〇.54mm(〇.52mm)

莖元重 〇.52mm(〇.52mm)

莖元重 〇.52mm(〇.52mm)

莖元重 〇.52mm(〇.52mm)

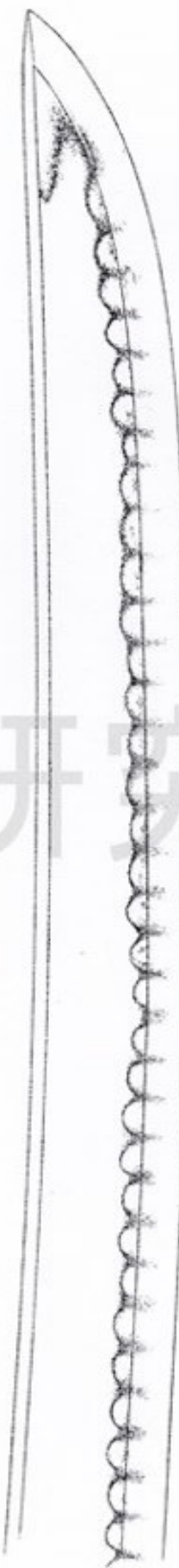
莖元重 〇.52mm(〇.52mm)

莖元重 〇.52mm(〇.52mm)

莖元重 〇.52mm(〇.52mm)

莖元重 〇.52mm(〇.52mm)

莖元重 〇.52mm(〇.52mm)



近江大掾藤原忠廣

刀剣研究連合会

脇指兼則作

天文

初代は永承三河外次の子、直江三津兼友の子、法名三河外、しにがて兼則系を三河外次と号して、七流中では善定派、奈良派と並ぶ三河外派の一つ。兼則・兼長・兼國・行秀・兼善・兼春・兼友・兼宿・兼高等がある。室町末から江戸初期にかけて、山城・摂津・越前・加賀・越中・越後・信濃・尾張の各所に移住して、

平成二十七年十月十六日

鑑定刀

刃長 39.5cm (一尺三寸三分三厘)

反りの58mm (一分九厘)

元中 286mm (二尺三寸)

元重 0.71mm

兼長 42.2cm (一尺五寸)

兼長 42.2cm (一尺五寸)

兼長 42.2cm (一尺五寸)

兼長 42.2cm (一尺五寸)

兼善 40.7cm

兼善 40.7cm

兼善 40.7cm

兼善 40.7cm

平造、三ツ棟、棟筋の巾は狭く庵は低め、重たはやや厚く身はやや細くマクラは粘れる。反りは中向反りがやや高めで先反りを加えに脇指姿。

此鉄は板目に至交じりてやや肌立ち、此流が一面に厚くつき肌に希くて此景が表われる。よく練れた明るい鉄。

刃文は互の目丸れて丸の頭は丸、角、尖差かかる。表は倍焼を交じり棟境もみあり皆度に近い、刃中足、葉よく入り

全筋、砂流しを交じえ、裏は湯が深い。

帽子は丸れて刃方に倒れかけんに返る。

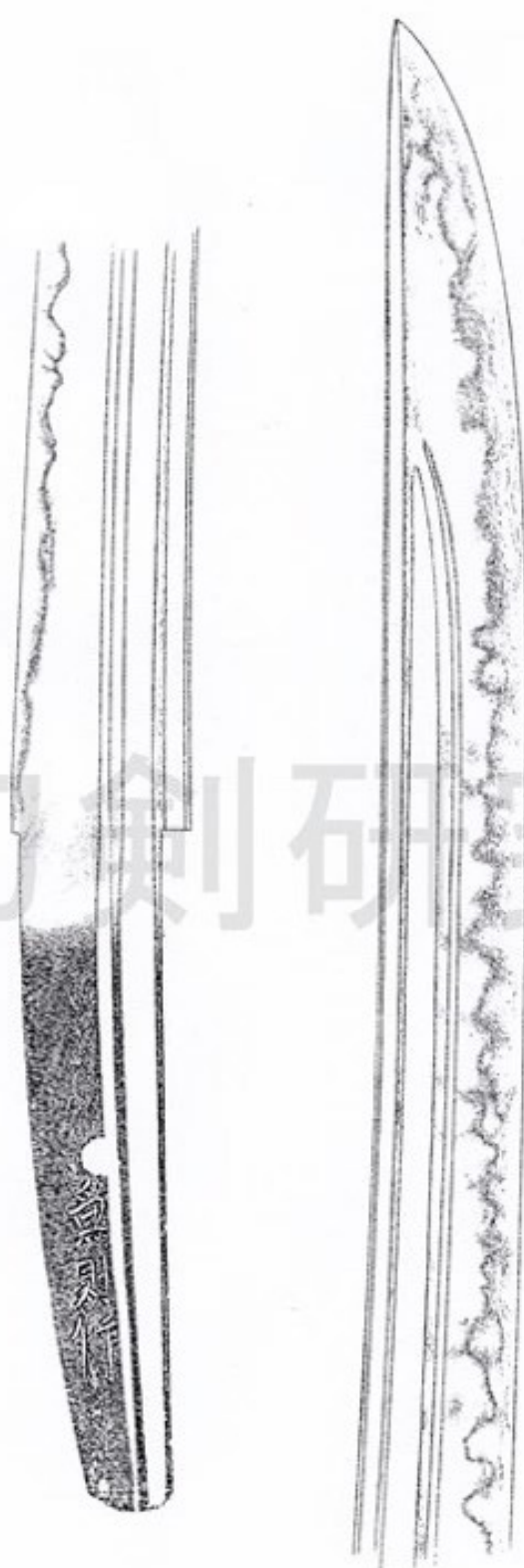
彫刻、刀樋に連樋を掻き通す。

茎は生ぶ、中広で刃方玉や張つせかけんに刃上り栗尻、刃角小肉、H、棟向、

鏡は倍焼、目釘穴は通帯の位置より下方、茎の中程に一、銘は右肩上に三字銘を切る。

よく練れた此鉄、働きの豊富に刃文など、その出来は古調。

よく練れた此鉄、働きの豊富に刃文など、その出来は古調。



刀剣研究

脇指 水心子正文 (花押)

嘉永五年二月吉日 (一八五三)

武藏 天保

「川部北司水心子藤原正文」

「羽州山形正文」

「薩摩臣川部水心子藤原正文」

「水心子正文」

川部北司

水心子正文三代目

二代水心子正文自無入道の子

父早世のため直胤に承び、直胤の

女婿になる。秋元家に迎えられ

下谷御使所に住す。

万延元年三月十一日没 (一八六〇)

平成二十七年十月十六日

刃長 37.2cm (一尺二寸九分三厘)

差長 11.7cm (二寸二厘)

元重 0.58cm 元中 3.35cm (三寸二厘)

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

鑑定刀

反り 0.53cm (一分七厘)

差反り 0.12cm

元中 3.35cm (三寸二厘)

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元中 3.35cm (三寸二厘)

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

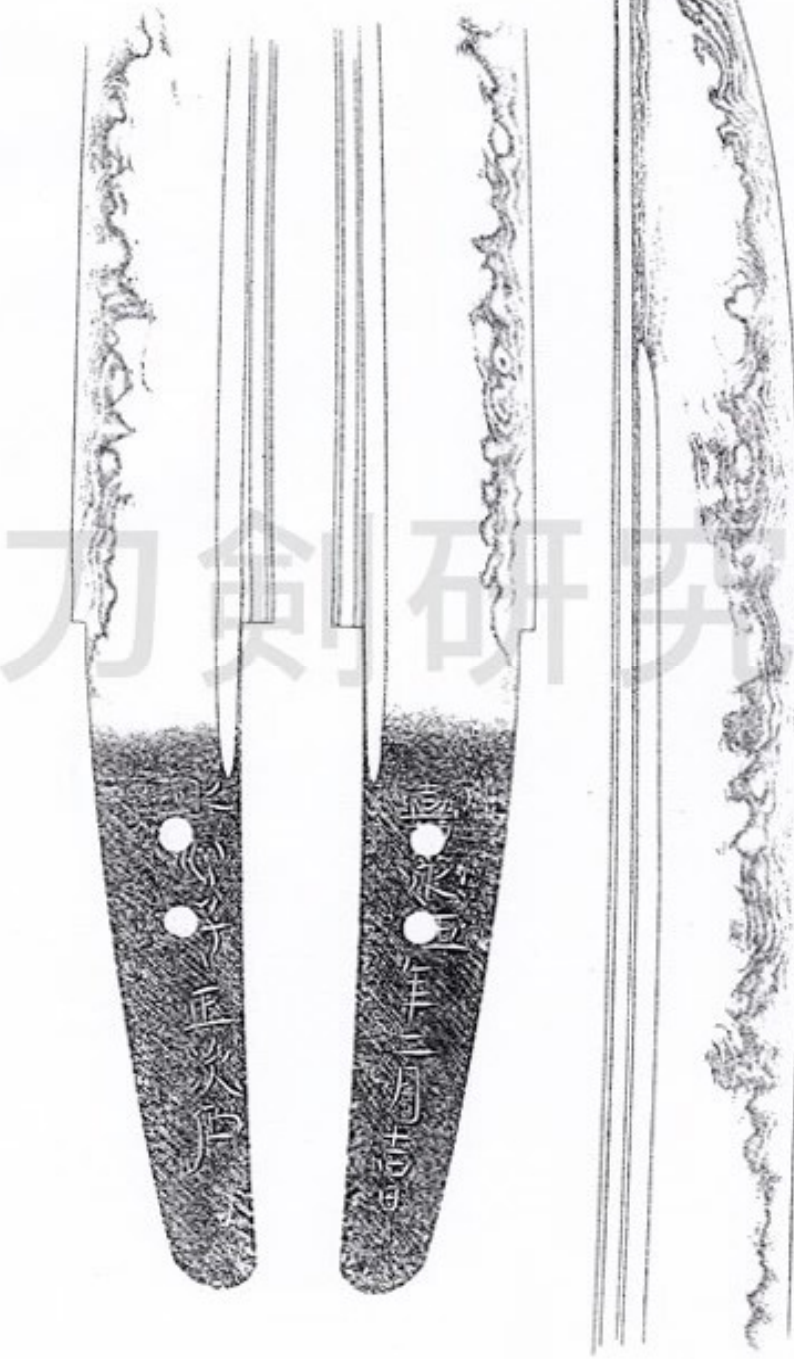
元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm

元重 0.58cm



平造 刃目は至目交りしてやや肌立ち、細が互地沸がツマ、肌は赤く肥景が沈む。刃文は湯水に互の目で夫が交じり、匂が刃目から刃際まで強く、刃中は足葉よく入り、金筋・砂筋しが長く激しく入り刃肌が立つ。匂口は赤・匂が深く明る。帽子は丸くて本刀と同様肌から入って変化に高升、長く返る。彫刻 中の深、刀筋を棟に寄せて磨きす。差は生ぶ、巾が先を細め、差尾は刃より粟尻、刃小丸、日。棟丸 (一山) 縁下の元を避けて(子)と(五)と切る。変化に高んだ刃文と帽子が素晴らしい。

脇指 舞鶴友英作

安政二乙卯年八月吉日(八五五)

河水

「舞鶴友英」東稱舞鶴友英造之

「大神左英作於麴町御屋敷」

藤原孝行・初銘「友秀」。

始めは河門國契山て鍛刀、

後に江戸四谷て造り、

明治からは麴町て作刀とする。

大保から明治三年までの作を見る。

平成二十七年十月十六日

刃長 33.7cm (一尺二寸五分七厘)

先重 表 0.41cm 裏 0.25cm

茎先巾 1.0cm

表は切刃差 裏は普通差、三ツ棟で棟筋の中は狭く庵は急、表の鍋中は広く裏の鍋中も広く鍋高は普通、重ねは薄めで

身中は広く、フクラは格れかげんで中間反りに先反りがつく。地鉄は小板目に小歪を交じえてよく約オ、微塵の

地沸が厚くつき、肌は赤って地鉄が沈む。明る、地鉄で地色は黒味がかる。

刃文は互の目、先に中くにしたがって腹中を広め、表裏の刃がよく揃い、腹の棟を長く、足は長くよく入り所々刃先は折れ、

物は深くやや次かげん。帽子は乱れて返りは長く、境中は広く、沸が深々と厚くつき金助が交じる。

茎は生心、表の鍋筋(切刃)は茎先に折れ、裏の鍋中は広めて鍋高は普通、やや短寸で刃方玉張りせ先を細めて葉尻、

刃同口 棟角 鏡は化粧鏡、磨止しは切て下は筋違、目釘定は下方茎の中程に一、銘は作者を長に

表は半段を各々右肩片に切る。友英の傑作で、地刃健全。

鑑定刀

反り 0.6cm (二分二厘)

茎長 1.4cm (1.5cm)

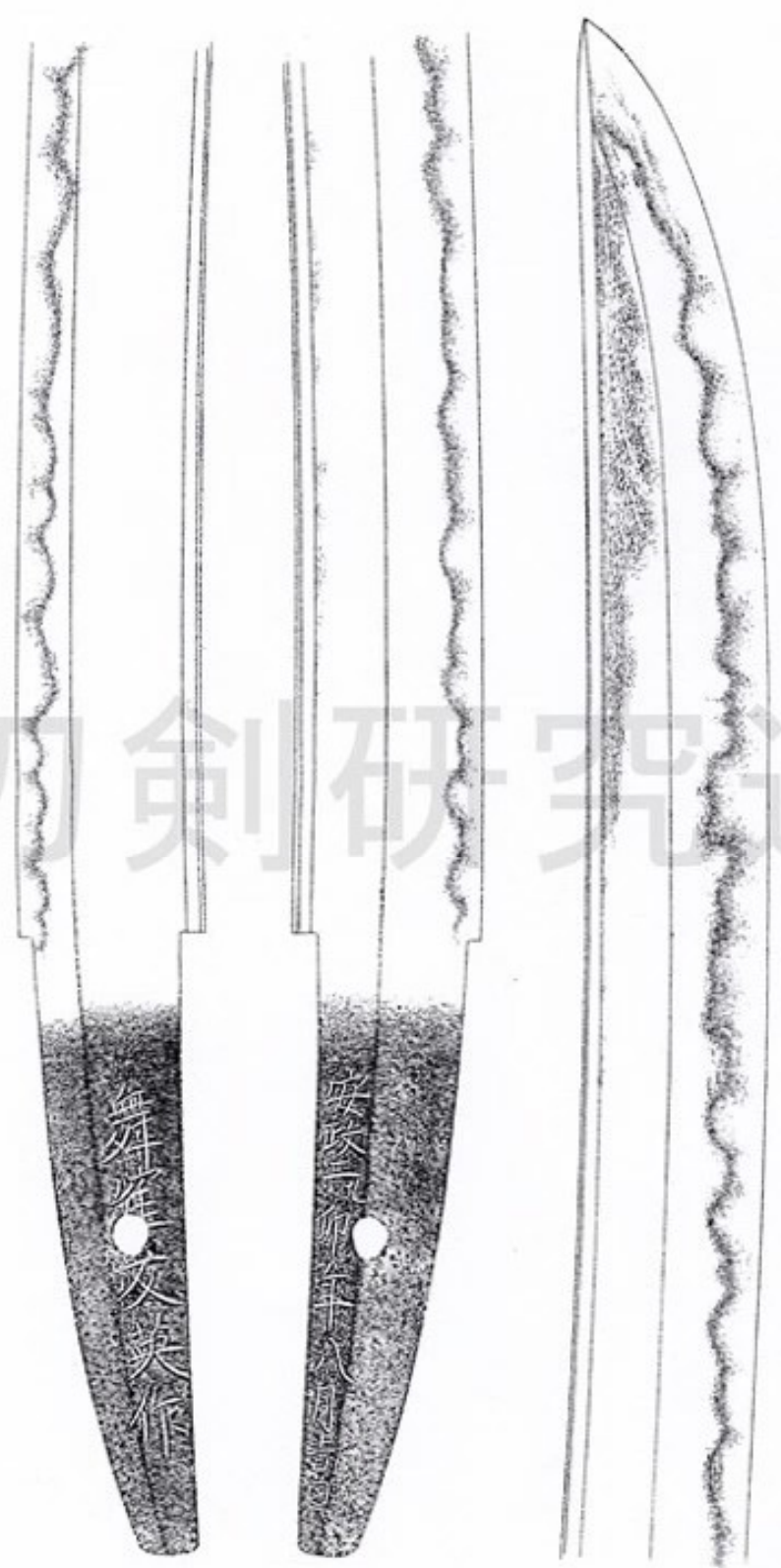
茎先重 0.57cm (0.57cm)

元中 3.18cm (3.14cm)

茎先重 0.26cm (0.27cm)

元重 0.60cm (0.51cm)

茎先重 0.28cm



刀劍研究會

短刀 兼之

美濃 永正

「兼定」「兼定作」「濃竹内住兼定作」

「濃竹内住兼定造」「和泉守兼定」

「和泉守兼定作」「和泉守藤原兼定」

次郎右衛門、右衛門

明徳三年(一四五三)頃から同六年頃までは

「定」の字と借書で切り同九年頃からは「定」

と「え」と切るように変る。

永正八年(一五二二)の刻(南宮大社蔵)が

「和泉守」と切った最古の作と見われ、

作刀期は明徳三年から大永六年まで

およそ三十三年間に渡る。

最上大量物。

平成二十七年十月十六日

刃長 23.2cm (七寸六分五厘)

莖長 10.7cm (一〇.三寸)

莖重 〇.28g

平造、三ツ棟、棟筋の中は狭く庵は急、重ねは薄く身巾は狭めの造込刀となり、フクラは粘れて反りは無く、

尋常は長この短刀姿となる。

地鉄は小板目に板目と小条を交じえ所々板目が狂に流れてやや肌立ち、細かな地沸が厚くつき、白々映りが

鮮やかに衣われ、地色は黒味を帯びて明るく冴える。

刃文は浅く湾れた魚刃、小豆の目を交じえて腰刃を燒き、刃中は小足が入り、匂口は締りかげんに明るく

冴える。

帽子 浅く湾出して先は丸く、衣は刃方に倒れかげんにやや長く返る。

莖は生ふ、うすく肉がつき、先は刃上り兼尻、刃角は鈍く、硬小丸、

鑿は楕圓、目釘元は二、銘は元定銘を二字に切る。

狹特の映りと砥目の交じった鍛えの良、地鉄と、締って冴えた刃文、俯さかげんの帽子に兼定の一作風が

よく表われている。

鑑定刀

反り 内反り 〇.2cm (七厘)

莖重 〇.28g

元中 2.28cm (二.2寸)

莖重 〇.28g

元重 〇.28g

莖重 〇.28g

莖重 〇.28g

莖重 〇.28g

莖重 〇.28g

莖重 〇.28g

莖重 〇.28g

莖重 〇.28g

莖重 〇.28g

莖重 〇.28g



刀劍研究會